

観光立国推進本部観光連携コンソーシアム（第3回）議事概要

1. 日 時 平成 22 年 3 月 30 日 17:30～18:30
2. 場 所 観光庁国際会議室
3. 出席者

【メンバー】

辻元国土交通副大臣（座長）、藤本国土交通大臣政務官（事務局長）、和泉内閣府地域活性化推進担当室長、渡辺総務副大臣、門司外務省文化交流部長、中川文部科学副大臣、足立厚生労働大臣政務官、舟山農林水産大臣政務官、松下経済産業副大臣、田島環境副大臣

【有識者】

平田オリザ氏（劇作家・演出家、内閣官房参与）、李鳳宇氏（映画プロデューサー）、開原成允氏（国際医療福祉大学副学長・大学院長）、萩野正二氏（㈱ジェイティービー 旅行マーケティング戦略部マネージャー）

- 冒頭、辻元国土交通副大臣から「今回は文化、医療がテーマであり、活発なご意見を頂きたい」旨の挨拶。
- 続いて、平田オリザ氏及び李鳳宇氏より文化観光の振興策について、開原成允氏より医療観光の振興策についてヒアリング。
- その後、中川副大臣より観光立国の実現のための文化資源の活用方策について提案が行われた。
- 出席者間で概要以下のような意見交換が行われた。
 - 我が国には世界遺産、文化財が多数あり、メディア芸術などの文化資源もあるので、これらの文化資源を外に向けて活用し、新たな日本のアイデンティティーをつくっていくことが重要。
 - ソフトパワーがどのように日本の成長戦略に寄与できるのか定めた上で、観光、外交、文化、学術の役割を検討していくことが長期的視点で考えれば重要。
 - 映画のロケを誘致する際に道路や鉄道車両等が活用できれば、映画制作やロケ誘致ももっと行いやすくなるのではないか。
 - 現在の医療は日本人による日本人のための医療となっており、外に向かって広がっていかねばいけない。
- 最後に、藤本国土交通大臣政務官より、第4回会合はエコツーリズム、グリーン・ツーリズム等のニューツーリズムをテーマに4月中に開催する旨を説明。

以上